

KGA

'88秋季号
昭和63年10月1日発行



No. 24

目次

理事長インタビュー	1
講訪湖カントリークラブ 理事長 山田正彦	
コラム・芝草物語	3
昭和63年度 関東オープンゴルフ選手権競技	4
昭和63年度 関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技	8
委員長インタビュー	10
税対策委員長 松浦 均	

ゴルフQ&A	12
1989年度競技日程表	13
新規加盟俱楽部紹介	14
分科委員会	16
月例競技成績表(7・8月)、お知らせ	18
表紙Photo 江戸崎カントリー俱楽部	

 関東ゴルフ連盟

理事長インタビュー

自然とともに 素直に生きたい

講訪湖カントリークラブ理事長 山田正彦

聞き手・KGA広報委員 杉山通敬

写 真・KGA広報委員 石川博英



——創業者(株・三協精機製作所名誉会長)というの
は独特の“嗅覚”があると思うのですが、その“嗅
覚”はゴルフ倶楽部の理事長としても働くものなん
でしょうね。いきなり不謨な質問ですけど。

「これは最初からむずかしい質問ですね。会社と
いうのは1日1日の積み重ねなんですね。会社全体
のこともありますが、社員1人ひとりも、現在の実
力でどの程度のことがやれるか。精一杯のことをや
る努力は必要ですけど、実力以上のことをやろうと
して飛び上ると足元をくわわれる。ですから日々、
やれることを着実に積み重ねていく。そうやってい
くうちにその会社なりに全体的にくくれるもののが生
まれてくると思うんですね」

——結晶作用みたいなものが働くわけですか。会社全
体がグツグツと沸騰して。

「ええ。自然とね。時代背景もあって、いくら努力
しても穩らない場合もあるでしょうが、時代に対し
て素直な気持ちで反応していくべきことは煮つまっていく。飛び上がるようなこと、つまり背伸びをしないで日々積み重ねていくうちに、あなたの言うような結晶作用が働いて“自ずから成る”
と思うんですね。わたしはそういうものを大事にし
たい。倶楽部運営と会社経営では少しばかり違うと
ころもあるでしょうけど、基本的には同じではない
かと思いますね」

——どういう点に違いがあるんでしょうか。

「会社はピラミッド型ですね。上に立つ人が偉いとかなんとかいうわけじゃなくて、役目として方針を
立てざるを得ない。それがピラミッドの底辺まで水
が染みとおるようにならせる。しかしゴルフ倶楽
部の場合は会員1人ひとりが同じ立場にあるわけで、
いうなればヨコ社会ですね」

——全員が社長みたいなものでしょうね。

「特定の会員を優遇しちゃまずい。実はわたしのと
ころの平林支配人、これが名物男でしてね。誰に向
かっても言いたいことを言う。だけどきわめて性質
がよくて、やることが良心的なんです。つまり委せ
ておいて安心な男なわけです」

——会員でもあるんですか。

「ええ、会員ですし、倶楽部の理事でもある。わた
しはゴルフは下手(ハンディ24)ですし、倶楽部運
営のことにも精通してるわけじゃない。ただ、コース
に来てくださった皆さんが楽しんでくれて、来てよ
かったと思ってくれるようにしたいわけで、そのこ
とさえ心掛けてくれればいいと思ってるんです。支
配人から従業員一同まで全員が、愛着をもって働いて
くれれば、自ずと来てくださった方にその気持ち
が通じますからね」

(インタビューは東京新橋の三協精機本社会長室
で行なったのだが、壁に2つの額が架っていた。

1つは「3大方針 ①旺盛なるファイト ②科学的
的合理性 ③チームワーク」。もう1つは「経営理
念 大自然の原則にのっとり産業を通して限りな
く社会に貢献すると共に吾々の発展と幸福をめざ
してたくましく前進しよう」と唱ってある)

——“大自然の原則にのっとり”ですか。

「自然そのものと自然の中で生きてる人間とは、融
合してると思うんですね。自然の成り行きにまかせ
る、と言ったら他力本願みたいに聞こえるかもしれませんけど、自然に逆らっちゃまずい。例えば講訪
湖CCの場合、あと18ホール拡張するだけの土地はあ
るんです。ちらほらと拡張したらどうかという声も

ないではない。でも“ちらほら”的段階でやるのは自然じゃないと思うんです。地域の人びとからも、社会全体からも、地から湧いてくるようにして“拡張しよう”という声が、それこそ自然に沸騰してきたときにやるものではないか、と。それが自然に逆らわないやり方ではないか、と、わたしはそう思つてますね」

— 諏訪CCの場合、一種のリゾートコースと言ってもいいと思うんですが、そうなると観光気分でプレーする人も多いのではないかでしょうか。社内旅行みたいな時に、初ラウンドする人がいて、マナーもエチケットも知らずに他人に迷惑かけたり、コースを傷めたりする心配はございませんか。

「エチケット、マナーが出来てない人はゴルフアーチャー。ですから回ってもらっては困る。支配人もわたしもそう思っています。年間来場者は37,000人程度で会員が約15,000人、ビジターが22,000人といったところでしょうか。4対6の割合です。年間売上げは6、7億といったところで、当然ビジターフィの収益が多いわけですが、ゴルフアーチャーの人、つまりエチケット、マナーを守れない人ですね、そういう人が来場したら皆んなで厳しく注意するようにならないと思ってます。その点でも平林支配人の存在は大きいんです（笑）」

— 理事が全幅の信頼をおいてるので心おきなく出来るんじゃないですか。お駕廻さまの手のひらの上で仕事してるみたいに。

「わたしの手はそんなに大きくないですよ（笑）。でもわたしは彼を信頼しますし、恐らくほかの理事も会員もそうだと思います。会員と支配人、支配人と従業員、従業員と来場者、全てが信頼関係で成り立つようにしないと、ぎくしゃくしたものが生れてくんじやないでしょうか。これまた自然の成り行きです。来てくださった方が楽しくプレーして、プレーが終ったら団らんして、また来ようじゃないか、と、そういうものにしたいですよね」

— 理事長は日本スケート連盟の会長（冬季オリンピックのインスブルック大会では団長、サラエボ大会では副団長）をおやりになってるわけですが、オリンピック選手をごらんになる目でゴルファーをながめた時に、どう思われますか。

「オリンピック選手は気の毒な面がありますね。やってることはゴルフでいたらプロの修業と同じかそれ以上のことをやってると思うんですが、身分的な保証の面ではなんにもないに等しい。国のスポーツ行政の誤りもあると思うんですが、彼らを抱えている企業もちょっとおかしいところもあるし、国民全体の期待のし方もまともじゃない。現役でやっている間は皆んなでチヤホヤして、引退したら運動選手になにが出来るか、という接し方をする傾向があるわけです。しかしあれだけ厳しいトレーニングを歯をくいしばってやった連中ですから会社の仕事だってバリバリりますよ。わたしのところにもオリンピック選手が何人かいて、要職についてますけど、職場は非常に明るいです」

— “旺盛なるファイト”もあるでしょうし、“チームワーク”も尊ぶでしょうし、トレーニングで培った“科学的合理性”だって身につけているでしょうし。“彼らを勝った負けただけで評価するのは間違いますね。きのう（9月12日）、橋本聖子がわたしのところに来まして、マスコミにこんなに騒がれちゃってどうしようって悩んでるんです。ですから言ってやりましたよ。そんな悲愴感をもつなって。織田幹雄さんも、勝つためにものを考えるのではなくて、全力を出すことだけを心がけて、あとは競技を楽しめばいい、と言っているから、そういうつもりでやれ



ばいいって。そう言っておいたんです。ええ、わたしもソウルに行きます。橋本と関（ナツエ）がスケート連盟の会員で、自転車のほうにも出ることになりますのでね。それに長野冬季オリンピックのこともありますし、ロビー外交もやらなければならぬ」

— お忙しくて、ゴルフもやれないですね
「体調を崩したこともあるって、昨年の夏以来やってませんよ。諏訪湖CCは12月中旬から3月下旬まで雪でクローズするんですが、春になって雪が溶け、下から芝の芽が出てきたときなど、1本1本の芝を指

で愛撫してやりたいような気になりますね。自然の営みというのはまことに素晴らしい。今年はプレーできるかどうかわかりませんが、来春は芝芽をまた撫でに行きますよ」



コラム・芝草物語⑦

懐しの匂い今いすこ

— ゴルフ場芝生肥料の今昔 —

肥料の分類には色々あるが一般の人に解り易いものは、有機質肥料（堆肥・魚粕・油粕等）と化学肥料（無機質肥料、硫酸アンモニア・過磷酸石灰・硫酸加里・化成肥料等）また、金肥（化学肥料）、自給肥料（堆肥等）の分け方であろう。農業における化学肥料一辺倒には近年批判はあるが、化学肥料の恩恵は大きなものがある。ゴルフ場も同様で、有機的なものの必要性は認め、科学的根拠によって使用しなければならないが、やはり、主流は化学肥料である。しかし、その昔はどうであったか？昔といつも日本のゴルフ場の開祖は六甲GCで、今から85年前、日本人初のゴルフ場の駒沢GCは74年前、程ヶ谷CCは66年を経ている。

日本の化学肥料の輸入または製造は、カリ肥料の塩化加里は明治初年、硫酸加里は昭和初年、リン酸肥料の過磷酸石灰は明治20年、チッソ肥料の硫酸アンモニアは明治34年となっている。また、チッソ・リン酸・カリを含んだ化成肥料は昭和10年に大日本人造肥料で製造されている。この様な肥料事情では六甲GCの砂を敷均したグリーン、灌木を切り倒しただけのスルーザグリーンでは肥料は必要ないとしても、黎明期のゴ

KGAグリーン委員
角田 三郎

ルフ場は勿論、終戦前のゴルフ場や戦後米軍により肥料の徹底があったゴルフ場意外は化学的肥料の潤沢な供給はなかった。いきおい自給肥料に頼らざるを得ない。甚だ尾籠な話で恐縮だが、人畜の排泄物が直接・間接（堆肥等の熟成促進）使われた。筆者等の時代（昭和14～15年）当時は、流石に芝生の上からは施されなかつたが芝生の張替等には土の中に相当量が散かれた。古者の話ではコース内数ヶ所、堆肥倉庫附近に肥溜を作り、夾雜物を取り除き、十分腐熟した立派な製品が貯蔵され、水で薄めて芝生の上から散いたそうである。当時のゴルフ場の周辺は田園風景が多く一部のプレーヤーを除き大部分のプレーヤーは懐かしい匂い・健康な香りとして十分吸い込んだことと思う。ただ、生鶏糞・半熟の魚粕・油粕の匂は強烈で悪評であった。

現在の農業は収奪のみで還元がない。ゴルフ場でも然り、一部のゴルフ場では刈り草を堆肥として利用しているが大部分は利用していない。最近、ゴルフ場の農薬・肥料の問題に批判のある中、天然自然、健康的な場として価値のあるゴルフ場であるよう肥料の一部としてでも利用したいものである。

昭和63年度 関東オープンゴルフ選手権競技

●開催コース 江戸崎カントリー倶楽部(西・東コース) 全長6,896ヤード パー70
●開催期間 9月1日木・2日金・3日土・4日日 4日間

「ライ」との神経戦

ルポ・KGA広報委員 杉山通敬
写真・KGA広報委員 片山晴美



青木功と尾崎将司が欠場、中島常幸は初日の9ホールをプレーしただけで右足の痛みをうつたえ途中棄権、トーナメントを賑わすはずだった3人の“大看板”とともに姿を見せなかつたのは寂しい……との感想もあるうが、時はそのトーナメントにふさわしいチャンピオンを選ぶものようで、勝利の女神がプロ入り4年目の横山明仁を選んで白羽の矢をたてたのは今年の関東オープンにふさわしかつたと言えようか。その勝利の足跡はすでに各紙誌に報じられたので省く。いささか岡目八目の見方になるかもしれないが、最終日の模様をテレビ観戦して感じたことを述べてみたい。

フェアウェイは狭く、ラフは深く

ゴルフはライのゲームだ、と言う。あるいはアンジュレーションのゲームだとも言う。例年のごとくマニュアルに則してコースのセッティングがなされ

たようだが、フェアウェイは狭く、ラフは深く、各選手に細心の注意と勇敢な挑戦意欲をうながしていた。テレビ画面でもそのことが窺い知れた。ボールは丸いから、バウンドのし方、跳ねどころ、最後のひと転りでどのようなライに止るか予測がつかない。特にラフに入ったボールは、その失打を戒めるかのように、ある時は草奔の中に白球を沈め、またある時は長い草が白球の台座となって浮き上がる。その様子もテレビカメラがクローズアップするので、手にとるように分る。どのような打ち方で、ラフのボールを打つか、という興味よりも前に、どのような“接し方”をするかという興味のほうが先立った。

思い出すはボビー・ジョーンズ

ボビー・ジョーンズの故事に学ぶべきもなく、深いラフのボールはちょっとした不注意で、つまりスタンスのとり方やクラブのソールのし方などで、転がりやすい。あるいはライの改善と見なされやすい。知っているとおり、ジョーンズは1925年の全米オープンでラフに入ったボールを打つべくアドレスしたところ、ボールが動いた。本人は気づいたが、他



のものは誰も気づかなかった。しかし彼はボールアウト後、その旨を告げ、ワンペナルティを付加してそのホールのスコアを申告したのである。

草の中に沈んでいようと、草の上に浮いていようと、ラフのボールは動きやすく、ソールのし方によってはその意志の有無を問わずライの改善になりやすい。各選手はそのことを先刻知っていたようなので、ことのはか神経を使っていた。テレビに映った

関東オープン 裏方奮戦記

ルポ・KGA広報委員 宮元昭雄
写真・KGA広報委員 片山晴美

大会が成功裡に終了するか、どうかは、その裏方さんたちの陰の努力が大きく左右することは言うまでもない。

パーフェクトな試合展開を望むコース側の配慮や大会本部要員たちの汗みどろの活躍など、目に見えない所でのこれらの支えが今大会を大きく盛りあげたとも言えよう。以下はもうひとつ関東オープン奮戦記である。

モットーは美味・清潔・迅速

例えば、2500食。これは他でもない、期間中に選



手やその家族たち、そして役員や来賓など関係者たちへの食事の配膳数だが、「美味しいもので、早く出す」これが橋本篤敬コック長のスローガン。朝4時に出勤、6時にはすべてスタンバイ・OKという態勢でのぞむ。普段ならスタートの時間でなんども調整できるが、この期間中だけは早朝から夕方まで引っ越しなしの配膳サービス。コック6名、皿洗い5名、ウェイトレス12名のチーム・ワークよろしく汗

だくの大活躍ぶり。「清潔でスピーディー」との好評にさすがこの道30年のベテランでも「今回だけは神経がスリ減りました」と巨体をゆすっていたが、なにはともあれ「本当にご苦労さまでした」。

僕は“飯場のかしら”です

学連。つまり関東学生ゴルフ連盟に所属する各大学のゴルフ部の学生たち。この大会も彼らの奮闘ぶりが目立った。

いくらゴルフが好きだから……、といっても役柄によっては個々に不平不満が出るという。1日約200名近い学生たちのポジションを決める世話役は山本秋広君(早大3年商学部)。

「いわば飯場のかしらみたいなものですよ。」と本人は涼しい顔で受け答えていたが、キャディー、ギャラリー整理、ボード係、キャリングなど、テキパキと決めて好感のもてる学生ボスも「毎日が戦争です」

と目が血走っていた。

ゴルフ部の部費稼ぎに労働力の提供ということもあるが、ゴルフが上達するためにはいろいろと苦労が伴うものかも知れない。

彼らにとって同じ学生仲間の川岸選手が三日目トップ・グループで回るという久々の快挙をわが事のように喜んだに違いない。若しや“優勝でも”とそんな話題が走ったが、当の本人はいたって控ひでア



限り、全ての選手がクラブヘッドを吊るようにして、ちょうどパンカーショットのときのように、地面にソールせずにアドレスしていた。

15番の金井清一の右ラフからのセカンドショット。16番の丸山智弘のグリーン脇のラフからのアプローチ。17番の横山明仁のラフからのセカンドショット。あるいは18番の海老原清治、長谷川勝治、横山の、やはりラフからのセカンドショット。いずれも腫れものにでも接するような風情で、クラブヘッドを宙に浮かせたままアドレス、ソールすることなくテークバックを始動させていた。彼らはライと「神経戦」を戦っているように観えた。はたして茶の間でテレビ観戦したファ



マチュアらしい品性と豪快なショットが人気を一身に集めていた。

命がけの写真取材

広報委員も楽ではない。コース内に設置されたNHKの放送タワー。高さ24mもある無線タワーの頂上のロボット・カメラのところまで登って取材していた片山委員。「足がガタガタふるえて、もう歩けないよ」と、死にもの狂いで取材をやっていた。

電波と音声の坩堝——NHK、大会本部

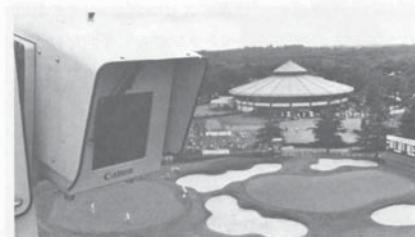
NHKといえば今年も25台のカメラに100名のスタッフ総動員の大健闘ぶり。なかでも常連の羽佐間アナがラウンド・レポーターになり、斎藤氏がアナウンサーとして初見参。さてそのお手並みはどうだったでしょうか。

今年は異常気象。なかでも4日間とも雲行きが悪

いは、その「神経戦」を観てとてくれたであろうか。残念だったのはアナウンサーも解説者も、スルー・ザ・グリーンからのショットにもかかわらず、なぜ彼らがソールせずにアドレスしているかについてひと言のコメントもしなかったことである。



ゴルフはライのゲームであり、「あるがまま」のボールを打つゲームであることを説明し、アドレスによってボールが喧嘩がったり、ソールしたことでライの改善と見なされたりすれば罪打が課せられることを、ひと言でも言ってくれたら各選手の「神経戦」はさらに興味をもってテレビ観戦できたのではないか、と思考した次第である。



く、いつ降り出すかわからない雨と雷が心配で大会本部の面々はヒマワリ・レーダーとにらめっこ。契約先の民間の測候所と30分置きに予知作業に懸命の態だったが、レーダーエコーのチェックが忙しい。それに、50台のトランシーバーの音声が、フェアウェイはもちろん、やれ駐車場、受け付け、ギヤラリープラザ、競技委員……から、絶えることなくワンワンと飛び込んでくる。それをテキパキ処理なのだから選手のプレーなんぞ垣間見るとまもなかつた。

昭和63年度 関東オープンゴルフ選手権競技成績表

参加者147名 6,869ヤード パー70 9月1日(木)~4日(日) 於:江戸崎カントリー倶楽部(西・東コース)

順位	氏名	所属	第1ラウンド		第2ラウンド		第3ラウンド		第4ラウンド		合計	
			アウト	イン	計	アウト	イン	計	アウト	イン		
優勝	横山 明仁	牧場	36	34	70	33	33	66	32	35	67	278
2	丸山 智弘	浜田 精一	36	36	72	34	38	72	36	33	69	284
2	湯澤 信一	イシベリズム	34	35	69	38	35	73	34	36	70	284
4	金井 清一	ダダイワ精工	35	37	72	37	36	73	34	35	69	284
5	飯合 一	日東興業	37	36	73	34	37	71	34	37	71	286
5	海老原 清治	第一不動産	39	36	75	36	36	72	36	31	67	286
5	鈴木 弘	美野	36	34	70	34	36	70	34	37	71	286
5	長谷川 一	豊橋	33	37	70	33	32	65	36	37	73	286
9	羽川 勝	セントラルスポーツ	32	34	66	36	38	74	36	38	74	287
10	安田 春良	大徳興業	36	36	72	33	38	71	35	38	73	288
10	岸 崇	鳥山城	34	39	73	34	32	66	38	36	74	288
10	尾崎 面善	日東興業	35	35	70	37	33	70	37	35	72	288
13	水巻 善清	エース交易	34	35	69	37	39	76	37	34	71	289
14	小泉 順	ロイヤル	37	36	73	38	36	74	35	35	70	290
15	矢部 伸	フーリー	37	35	72	38	34	72	37	37	74	291
15	牧野 由	デサン	32	35	67	37	37	74	37	35	72	291
17	渡辺 敏	我孫	37	38	75	34	40	74	36	36	72	292
17	謝加 潤	黒長太	38	35	73	36	36	76	38	32	70	292
17	室屋 伸	大袋クリーンゴルフ	37	38	75	37	34	71	38	36	74	292
17	室屋 伸	川崎国際	35	33	68	37	36	73	34	39	73	292
22	松沢 伸	岩間開発	37	36	73	35	38	73	40	35	75	293
22	川林 保	富士夫郎	35	41	76	38	34	72	36	37	73	293
22	鹿渡 隆	塙本産業	38	38	76	37	37	74	36	35	71	293
22	浜野 伸	野口光司	35	36	71	36	36	72	38	37	75	293
22	野口 伸	富士ロイヤル	34	37	71	36	35	71	38	39	77	293
28	藤野 伸	合田酒精	37	35	72	38	37	75	37	39	76	294
28	尾崎 健	ヨネックス	37	35	72	38	37	73	35	38	73	294
28	尾崎 健	日東興業	38	39	77	37	35	72	35	38	73	294
30	尾崎 聰	カネダ企画	37	38	75	39	36	75	35	38	73	295
30	須藤 聰	筑波ジャパンボーリング	34	38	72	37	36	73	40	35	75	295
30	中野 伸	太郎	42	34	76	33	36	69	36	38	74	295
30	新井 規矩雄	スラン	35	35	70	37	36	73	37	37	74	295
30	横山 伸	トリニティ	37	37	74	35	36	71	36	37	73	295
30	川俣 伸	サイプレス	34	37	71	33	36	69	35	40	75	295
36	川俣 伸	安比高麗クリート	37	38	75	37	35	72	35	37	72	296
37	岩下 卓	藤沢シティ	36	38	74	38	38	76	40	36	76	297
37	栗原 原	武蔵	37	37	74	37	37	74	37	39	76	297
37	佐野 伸	東山松城	37	36	72	39	39	78	36	34	70	297
37	佐野 伸	源氏	36	36	72	37	36	73	36	37	73	297
42	草壁 寛	アシック	37	36	73	37	38	75	36	38	74	298
42	帖佐 伸	スカイブルース	37	37	74	37	37	74	37	36	73	298
42	初見 伸	望月原	35	39	74	35	39	74	42	34	76	298
45	大友 富信	塙士平	35	39	74	35	39	74	42	34	76	299
45	芹沢 伸	富原質芳	35	38	73	37	37	74	37	37	74	299
45	森 伸	GMG八王子	34	39	73	36	36	72	40	34	74	299
49	新間 順	千代田プロジェクト	36	37	73	39	38	77	39	39	78	300
49	中島 善	越生	38	34	72	37	38	75	41	37	78	300
51	古山 伸	成田スプリングス	37	35	72	38	39	77	37	38	75	301
51	古山 伸	テニスセレクトス	36	37	73	35	39	74	38	38	76	301
53	丸山 安信	セントラル	36	38	74	35	39	74	40	39	79	302
53	植垣 坦	一間	37	38	75	37	38	75	40	37	77	302
53	謝永	柏	36	38	74	37	36	73	38	41	79	302
53	入野 伸	富士光学	38	34	72	35	38	73	40	39	79	302
57	橋添 純	フリード	36	37	73	38	38	76	37	41	78	303
57	金子 柱	千葉スプリングス	37	36	73	36	39	75	39	35	74	303
59	平山 雄	オーフ・ヒルズ	37	36	73	40	34	74	40	36	76	304
59	窪田 静	眞園	39	37	76	39	34	73	36	38	74	304
59	窪田 静	丸新	36	40	76	36	36	72	38	37	75	304
62	野上 浩	日本大	35	38	73	39	38	77	40	40	80	306
62	古木 仁	フリード	36	34	70	41	36	71	39	39	78	306
64	丸山 仁	綾瀬ゴルフ	39	37	76	36	36	72	38	43	81	307
65	室野 秀	千葉舞	36	38	74	38	37	75	39	41	80	308
65	菊川 秀	鶴舞	35	39	74	39	36	75	40	37	77	308

(以上決勝進出者) ◎ベストアマ 川岸良兼(鳥山城)

(※はアマチュア)

昭和63年度 関東ジュニアゴルフ選手権競技

●開催コース 武蔵カントリークラブ(笹井コース) 全長7,012ヤード パー72

●開催期間 8月4日木・5日金



若きチャンピオンたち 左より長尾卓(中学男子)尾崎智春(高校男子)福島晃子(女子)選手

アンファン・トリブルがやって来た

—恐るべき子供たち—

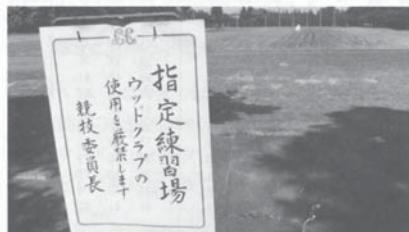
先づ下の写真にご注目ありたい。

これまでのKGA主催競技で、このような立札を用意したことは皆無のはずである。そう、いくらクラブ、ポールが改良(?)されて、"飛び"が格段と進歩したとはいえ、今日のジュニアの飛距離には度肝をぬかれる。

開催倂楽部の武蔵カントリークラブ・笹井コースは、コース・レート72.8、日本でも指おりの長くて難しいコースだ。

このコースを、ジュニアたちはどう攻めたか。いや、ゴルファーとしては幼い彼らに、高度の戦略、戦術は望むべくもない。一言でいえば、あり余る"力とバネ"でねじ伏せた。例えば、いちばん長いミドル・ホール(No.5、458ヤード)の第2打を、ほとんどの選手はピッティングでショットする始末だった。

当コースの競技委員長で、KGAのコース・レート副委員長、競技委員の新井安寿氏が、



日本ジュニア(霞ヶ関)、日本学生(鳳之台)でも同様の理由でウッド使用は禁止

「いや、たまげた。僕なんかスプーンでいいショットしても50ヤード残るのに…」

とあきれはてた顔で語っていた。

さて、その結果は次頁の成績表のとうりだが、飛びすぎる故の問題が一つ。これが写真的立札だ。これは、競技委員会が指定練習日、競技日に用意した立札である。

この練習場は約260ヤード、そしてその奥に高さ11.5メートルのネットが張ってある。

実はこのネット昨年はなかった。去年、何人かの選手が隣家の庭にぶち込むは、倉庫のガラスは打ち破るは…所轄署に大目玉をくらう事件が生じ、倂楽部にえらいご迷惑をおかけし、今年は一筆入れて開



尾崎智春君の凜々しくも清潔感にあふれた顔

催をおひきうけいたいた経過がある。

だから万一の事を慮り、高校生の某君に試打させることにした。ところが、20のうち5打、軽々とオーバーフェンスする始末。どう見ても、キャリーで300ヤードを飛ばす巨砲ぶりである。「これはいかん」とのことと写真的立札に、先生の監視役を張りつけた次第である。

もはや彼らにとって、ハザードはハザードの意味をなさない。そんな彼らがゴルファーの大半を占めるような日は近い。

ゴルフ場はどう対応するのか、競技のあり方は、コースセッティングは、ボールは、クラブは……といつた諸問題を検討する日が到来するに違いない。

まさにアンファン・トリブル——恐るべき子供たちの時代の到来を告げる2日間だった。

(文責 事務局 佐藤 写真提供 スポーツ・ニッポン新聞)

昭和63年度 関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技

〈高校男子の部〉

順位	氏名	学校名/学年	1R	2R	合計
1	尾崎 智春	千葉日大(2)	77	72	149
2	細川 和彦	日体 莊原(3)	73	77	150
3	足立 智明	東京学館浦安(2)	77	75	152
4	高橋 博樹	日高(3)	77	76	153
4	久保谷 健一	東野 曽屋(2)	80	73	153
4	片山 晋興	水戸(1)	77	76	153
7	竹沢 新一	武陽 学園(2)	82	72	154
7	金沢 英昭	日体 莊原(2)	78	76	154
9	加藤 雅成	東京学館浦安(3)	81	74	155
10	竹原 洋行	日大(3)	81	75	156
11	森 井 雄裏	澤(3)	77	80	157
11	横尾 翔	東京学館浦安(1)	75	82	157
11	善田 和宏	日体 莊原(3)	80	77	157
11	河合 計俊	日体 莊原(2)	80	77	157
15	日野 雄大	明大中野八王子(1)	83	75	158
16	堺 谷 和符	埼玉 素(3)	75	84	159
16	菊地 貴之	東京学館浦安(1)	81	78	159
16	小西 仁	埼玉 素(3)	81	78	159
19	長谷川 芳行	埼玉 素(2)	77	83	160
19	高田 烈美	若狭 学園(3)	82	78	160
19	鶴山 英人	日大(3)	84	76	160
19	内藤 審	澤(1)	82	78	160
23	高田 光章	明大中野八王子(3)	84	77	161
24	岩立 淳	武陽 学園(3)	81	81	162
24	岩沢 修	日体 莊原(3)	79	83	162
24	平井 公義	青山 学院(2)	81	81	162
24	永田 浩一	山形(3)	81	81	162
24	茂木 守人	足利 学園(3)	78	84	162
24	宮田 士目	日大(3)	83	79	162
24	白浜 浩	高崎 明学(1)	82	80	162
31	佐藤 貴士	水戸(3)	84	79	163
31	吉野 正康	越谷(3)	82	81	163
31	大久保 康也	向(3)	83	80	163
31	椎山 英一郎	東京学館浦安(3)	84	79	163
35	松本 卓哉	筑立(3)	83	81	164
35	岡本 駿	明大中野八王子(3)	81	83	164
35	神山 隆志	日体 莊原(1)	89	75	164
35	丸山 大輔	泉(3)	84	80	164
35	秋山 将司	伊東(2)	81	83	164
40	小久保 晃一	山(2)	82	83	165
40	増田 研磨	各村 工業(3)	77	88	165
40	山崎 肇	豊城(3)	88	77	165
40	桑原 佳彦	明大中野(3)	83	82	165
40	野尻 房男	向(3)	86	79	165
40	南本 修	東京学館浦安(2)	83	82	165
40	森 多可志	谷(3)	82	83	165
40	松原 重樹	埼玉(2)	84	82	166
47	横田 真一	水城(2)	84	82	166
47	甘田 安孝	向(3)	87	79	166
47	井口 順晶	堀越(3)	83	83	166
47	永沼 光	城(1)	82	86	166
47	調所 宏	紫雲(3)	83	83	166
53	新井 大樹	日体 莊原(2)	85	82	167
53	諸橋 和夫	横浜(2)	81	86	167
53	和田 淳	日大(3)	86	81	167
53	川原 稔	日体 莊原(3)	83	84	167
53	山本 秀樹	埼玉 素(3)	79	88	167
53	佐藤 芽智	明大中野(2)	81	86	167
59	後藤 藤	埼玉 素(3)	82	86	168
59	森 崇	玉川 学園(3)	86	82	168
59	横須賀 雄一	日大(3)	88	80	168
59	志村 武彦	波崎(3)	86	82	168

〈高校男子の部〉

順位	氏名	学校名/学年	1R	2R	合計
1	金沢 敦	土浦 日大(3)	81	87	168
2	小泉 尚久	日大 豊山(3)	85	83	168
3	清水 一浩	土浦 日大(2)	88	81	169
3	白山 貴太	土浦 日大(2)	81	88	169
5	佐藤 秀実	銚子市立西(3)	83	86	169
5	小松沢 研治	土浦 日大(2)	88	81	169
7	星野 健治	東京学館浦安(3)	86	84	170
9	中茎 哲也	伊東 商(2)	86	84	170
11	青藤 和夫	向(3)	85	85	170
11	利根川 浩	武陽 学園(1)	84	86	170
11	葛森 満	明大中野(3)	80	90	170
13	宮本 誠	宮本 誠(3)	86	84	170
13	田口 口	東京学館浦安(2)	88	82	170
15	佐藤 芳行	立(3)	83	88	170
15	佐藤 真二	大和 稲(3)	81	89	170
17	清水 錠夫	常(3)	88	82	170
17	倉田 高貴	応(3)	86	85	170
19	吉田 真一	吉田 真一(3)	87	85	170
19	坂本 大作	秀(3)	87	85	170
21	小坂 達也	也(3)	83	87	170
21	鈴木 祐	大(2)	84	88	170
23	内山 駿	山(3)	83	86	170
23	山崎 駿	大(2)	80	92	170
25	岡崎 真一	岡崎 真一(3)	85	87	170
25	田中 駿	向(3)	87	83	170
27	新井 安寿	新井 安寿(3)	89	84	170

〈中学男子の部〉

順位	氏名	学校名/学年	OUT	IN	合計
1	長尾 卓	五十嵐(2)	43	40	83
2	井野上 正範	明大 中野(3)	42	42	84
3	宮嶋 直	柏市立西(3)	44	41	85
3	重原 啓利	宇都宮市立横川(3)	42	43	85
5	松元 昌史	信大 松本(2)	40	46	86
5	小林 浩二	尾西(2)	43	43	86
7	宝田 光廣	杉並区立向陽(3)	43	44	87
7	森 貴之輔	大田市立西(3)	42	45	87
7	沖 薫	東 岡(3)	40	47	87
7	辻直孝	南希望が丘(3)	45	42	87
7	鈴木 隆一	市原市立栗山台(3)	44	43	87
12	緑川 康一	世田谷区立八幡(3)	45	43	88
12	久田 謙	豊明 学園(2)	42	46	88
12	斎藤 優	希氏(3)	46	42	88
16	平木 健之	川崎市立今井(3)	43	45	88
16	橋本 仁	調布市立第四(2)	47	42	89
16	横田 研	山(1)	43	47	90
18	鈴木 雅士	沼津市立原(3)	44	47	91
18	北川 崇一	日大(3)	45	46	91
20	原田 由秀	日大(2)	46	46	92
20	河守 代二	吉田町立中田(3)	44	45	92
22	久水 常義	明大 中野(3)	44	51	95
23	太田 田裕	富士(1)	51	45	96
24	岡野 広	庄(3)	44	53	97
25	杉山 博	杉並区立円寺(2)	50	48	98
26	豊岡 国弘	日大 二(1)	45	54	99
27	後藤 菲	日大 二(2)	54	51	105

〈女子の部〉

順位	氏名	学校名/学年	OUT	IN	合計
1	福嶋 真子	九山台(3)	43	43	86
2	八重幡 夕湖	作新学院(高3)	44	45	89
3	久保 樹乃	富津市立大野(3)	43	47	90
3	吉田 文恵	本庄 北高(3)	47	43	90
5	能登 亜紀	埼玉 実高(2)	46	45	91
5	小久保 美	埼玉 実高(2)	46	45	91
7	村上 みち代	埼玉 実高(2)	44	48	92
7	吉川 光	平和学園(3)	47	45	92
7	守屋 調子	多々良 中(3)	48	44	92
7	赤荻 令子	成女子高(2)	47	45	92
11	菊地 あづ子	世田谷区立宮中(1)	45	48	93
11	國分 光子	湘南学園(2)	50	44	94
13	植口 千鶴	新潟 周(2)	47	48	95
14	東尾 琴理子	富士見丘中(1)	47	52	99
15	金 沙羅	宇都宮女子高(1)	45	52	101
16	金 星佳	我孫子二種高(1)	53	54	107
16	大竹 美佳	サンモール八高(1)	47	52	99

委員長インタビュー 第7回

税対策委員長 松浦 均

聞き手・KGA広報委員 宮元昭雄



近代国家は、「税金国家」である。資本主義国家の主要な収入源はおしなべて税金……となると、いや大嫌いだといってられない。どうせ、逃れられないならば、公平、公正であってほしいと思うのが人情というものだ。ところで、わがゴルフ界が徴収されている諸税はどうなんだろう。

今回は、松浦委員長にその実情、経過、今後の展望を語っていただいた。

—税対策委員会の存在は、他の委員会に比べて非常に地味な印象を受けますが、なにはともあれ、今国会でどうやら税制問題は結着しそうですね、「娯楽施設利用税」という極めてアン・フェアな税金を撤廃させようと、国会や関係団体等に対する陳情活動など、長い間本当に大変ご苦労様だと思います。

簡単にこれまでの経緯をお話しください。

—たしかに地味な委員会ですが、私は大変重要な委員会だと思って、委員全員で協力しながら頑張ってまいりました。

現在ゴルフ界に対する見方は各界各様の意見がありますように、その投影されたものが、わが国の税制だと思うのです。娯楽施設利用税など、まさに不公平そのものですね。ゴルフはスポーツの範疇から外されて、いわば贅沢と見なされてきたわけで、例えばゴルフ用品やサーフ・ボードには課税するが、スキーやテニスのラケットは無税だとする、これまでの不公平な基準をなんとか改正して貰うべきだし、ゴルフ界全体のためにもひと踏張りしなくては、というのが現在委員会に与えられた責務だと考えられております。

—委員長はJGAの税対の委員長も兼務されておりますので、KGAとかJGAとか区別しないで「税対」という一本の線であれこれ伺うことになりますが

—JGAは競技団体であり、アマチュアゴルフの総本山ですから、我々がやらねば誰もやってくれない、つまりJGAがイニシアチブをとってこの税制問題を取り組んでいるわけで、考え方としては一本にまとまって頑張っています。

狙いはあくまで娯楽施設利用税の撤廃、このためこれまで多くの国会議員や関係官庁などに、巾広く積極的な陳情や要望の運動を進めてきました。

—確かに矛盾だらけの税制でアーリン・フェアなものは改正してもらわねばなりませんね。第一、麻雀やバチンコの部類とは本質的に異なるわけですし、同じ範疇にあること自体がおかしいと思います。

—数多くの陳情を重ねていくうちに、ゴルフに対する認識と理解が深まることは事実です。どうにか今国会で新しい税体系が結着することになるでしょうが、現在の見通しとしては、娯楽施設利用税は廃止され、新税に吸収することになりそうですね……。

—応 娯楽施設利用税はなくなるわけですね、しかし結果は形を変えて新税、つまり消費税ということに……。

—本質は廃止ですが消費税ということになり、仮称ですか、「ゴルフ場利用税」という名目の新税になると思います。

—新税による税率はこれまでのものと、どの程度の

違いがあるのでしょうか。

—これまでの標準税率が1,100円、これが800円になり約30%近く下るわけです。最高税率が1,650円だったのが1,200円になる。これは約37.5%も差がつくことになります。

これを標準にして今度はゴルフ場利用税が課せられ、更に売上金全体に対して3%の消費税がかかるという仕組みになるのです。

—メンバーは随分と安くなりますね。

—かりに5,000円のプレー料金がかかるとすれば、3%の消費税150円にプラス利用税ですから僅かで済むということですね。ビジターはそれほど変わらないと思います。

—ゴルフが大衆化していく。国民的スポーツを主張する時期にきて一般ビジターに恩恵が少ないので残念ですが……。

—我々はこれで満足していいけるわけではないので、息の長い活動を続け、もうひと押ししなければと思っています。

—ところでゴルフ場利用税として残った背景は、やはり地方自治体の圧力もかなりあったのでしょうか。

—自治体の逆陳情が相当強かったようです。いわば財源が減るわけですから、各市町村としても大変でしょう。

言い聞かせればゴルフ界は社会的役割というその責任を充分果して来たということになるわけです。

—昨年の利用税の総額は900億と聞いていますが、—わが国の娯楽施設利用税は約1,777億円、このうちゴルフが約900億円、約半分を負担していることになります。

全国で1,033の市町村が財政面で恩恵を受けたわけですね。

ゴルフの年間売上高は約1兆円、利用者数は延べ7,200万人、ゴルファー一人当たりの税金を計算すると約1,200～1,300円ということになります。ところがバチンコ業は約6兆円の売上に対して僅か200億円の利用税、どの程度バチンコをやっている人かいるか分りませんが、平均にして1人2～3円程度の税金を払っているということですね、いかに不公平かといふことですよ。バチンコ業と同じ範疇にあること自体がおかしいと言われる所以がここにあるような気がしますね。

—税は公平でかつ公正中立であるべきだ。と、よく

委員長は口にしておられたが……。

—その通りで自民党の税調に対して私は強くこのことを申し上げてきました。

ゴルフ社会に対する税体系は過剰な負担を強いられましたからね。

シャウブ勧告から40年の歳月が経ち、今日では矛盾だらけです。だからこの機会に再構築し見直して税の仕組みを変えることは絶対に必要だと信じています。

—スポーツに税金をかけるのは日本だけ?

—似通ったものは韓国もあるが、他の国のことは別として、大体スポーツに税金といえば先進国では日本だけでしょう。

とにかく物品税は撤廃し消費税3%の中で補うようになるし、ゴルフ練習所も非課税税となる。

—いい意味で税対委員会の活動は、国や関係団体に對しては大きなインパクトを与えたということですね。税体系が抜本的に改正される。ゴルフだけが定額課税をいうアン・フェアな税に甘んじることは許されませんからね。

—税の算定基準が定率課税になれば、少なくとも現況から30%は安くなる。同じゴルフ場でもローカルと都市周辺とではかなりの差があるわけで、この不公平は正のために委員会は詰めの陳情を押し進めて、なんとか公平税制をかちとりたいと考えています。

—ゴルフが大衆スポーツとして国民に愛され、ゴルファーの急増に添て施設も大型化していく。しかしスポーツというゴルフ本来のものから逸脱した遊びや娯楽のウエイトが高い設備を併設して会員募集を有利に導くという在り方に批判もあるようですが。

—ご指摘のことはよく理解できます。これから高齢者社会問題とか余暇利用を含めた豊かな環境づくりの中で、ともすればゴルフ本来の姿から逸脱するものもあるかも知れない、この点は別の立場になりますが、私もゴルフ場のオーナーの一人として大いに反省し勉強して行くべきだと考えています。

そうすることが、今回の税改正の陳情行為を通じて関係者たちが、本来の「ゴルフ」というものを理解してくれたわけですから、少なくとも、これらに對して我々が自らの足場を整える責任はあると思っています。

ゴルフ Q&A

とにかく天候だけはままならぬもの。今年も俱楽部競技を中断せざるを得なかつたケースがまつあつたと思います。

そこで、今号は「プレーの中断」に関する諸問題を特集いたしました。

短時間のうちに、委員会の決定、指示を行なわなければなりませんので、とかく混乱しがちです。ご精読下さい。

Q-1 プレーヤーAがティ・グラウンドでプレーした直後に、中断がアナウンスされました。Aの同伴競技者であるB及びCはティ・グラウンドからプレーしてもよいでしょうか。

A-1 プレーしてもかまいません。プレーヤーAがティ・グラウンドからプレーした時点で、そのホールのプレーが始まったことになりますから、もし可能ならば、そのホールをホール・アウトすべきなのです。但しホール・アウトしなければならぬ義務はなく、B、及びCはその場でプレーを中断してもよいのです。中断のアナウンスと同時にすべてのプレーを中断しなければならない、ということではありません。R6-8(D)

Q-2 集中豪雨で、プレー中断のアナウンスがあり、ホール途中でプレーを中止して待っていました。間もなく雨もやみ、プレー可能の状態になりましたので、委員会から再開の指示がまだ出でていないにもかかわらず、そのホールだけプレーをしようと決めました。こういうことは認められるのでしょうか。

A-2 認められません。中断とは異なりプレーヤー独自の判断で再開した場合は、競技失格となります。

Q-3 集中豪雨と雷で中断のアナウンスがあり、

回答：河西幹一・日本ゴルフ協会ルール委員
関東ゴルフ連盟競技副委員長

ボールをそのままにして茶屋に逃げ込み待機しました。再開のアナウンスがあったのでボールの所へ行ってみたら元の位置から10メートルも動いて排水構の近くにありました。この処置は、またボールは拾い上げたのですが、マークしたティ・pegが流されて分らない場合は、どのように処置したらよいでしょうか。

A-3 ボールをそのままにして中断し、雨水及び風等で動いた場合は、その場所、——質問のケースだとすれば排水構の近くからプレーしなければなりません。たとえばスルーア・グリーンからアウトバウンズに出ていればOB。グリーン上に置いておいてカップに入つていれば、カップイン。ボールがなくなつていれば失球となります。マークした、ティ・pegが雨水等で流失した場合は、元の位置と思われるところへ、リプレースします。ただしこの際は、マーカー、同伴プレーヤーの同意が必要です。

Q-4 ストローク・プレー競技で、雷のため中断していたプレーを再開するように委員会から指示が出ました。しかし、まだ落雷の危険があると思われましたので、しばらく待機することにしました。このような場合ペナルティを課せられるのでしょうか。

A-4 R6-8(a)では、プレーヤーが雷の危険があると考へた場合、プレーを中断する権利をプレーヤーに与えております。これは、プレーヤーに実質的に最終判断を委ねている数少ないケースの一つです。プレーヤーの身の安全を図ることが第1であり、雷に対する恐怖心がコース全体に拡まっているときなどは、特に留意すべきです。委員会はプレーヤーを危険にさらすことをしてはならないわけです。しかし、委員会が、一般に妥当と考えられる手段を講じて気象情報を確かめた上で、雷の危険が去ったと判断した場合は、その指示に従わなければなりません。拒否するプレーヤーを失格とする権限を持っています。

ゴルフQ&A

Q-5 ストロークプレーで、プレーヤーAがティ・グラウンドからプレーした直後にプレー中断が指示されました。Aの同伴プレーヤーであり、マーカーであるプレーヤーBは、そのまま中断、しかし、Aは一人でプレーを続けてそのホールをホール・アウトしました。このようなケースは認められるのでしょうか。

A-5 プレーヤーAがそのホールをホール・アウトするまでプレーヤーBがAに付き添つて歩けば、Aはプレーを続けて構いません。そうでない場合、Aにはそのホールでマーカーが居なかったことになりますから、Aのそのラウンドのスコアは受理されない

ことになります。

Q-6 集中豪雨で、プレーヤーAとBはマッチを中断しました。しばらくして、Aがプレーの再開を希望したところ、Bは、コースがプレー不可能の状態であることを理由に、Aの申し出を断わりました。この場合、どのように裁定すべきでしょうか。

A-6 コースがプレー不可能の状態であるというBの判断を、委員会が是認しなかつた場合は、Bは競技失格となります。Bの見解が認められた場合は、コースが再びプレー可能になり次第、中断された地点からプレー再開することになります。

1989年度 関東ゴルフ連盟競技日程表

月	日	曜	競技名	開催コース
5 8	月		関東女子選手権予選	第1ブロック 相武
5 9	火			第2ブロック 佐倉
5 16	火			第1ブロック 東京国際
5 15	月			第2ブロック 高麗川
5 18	木		関東アマチュア選手権予選	第3ブロック 伊豆にらやま
5 16	火			第4ブロック 塩原
5 19	金			第5ブロック 姉ヶ崎
5 15	月			第6ブロック 白帆
5 23	火		関東女子選手権決勝	鎌ヶ谷
5 24	水			
5 26	金			東京地区 武藏野
5 31	水			埼玉地区 武藏・笛井
5 30	火			第1地区 千葉夷隅
5 30	火			第2地区 千葉廣済堂
6 5	月			神奈川地区 レインボー
5 29	月		関東俱楽部対抗予選	第1地区 フレンチシップ
5 24	水			茨城 第2地区 茨城パシフィック
6 2	金			第1地区 鹿沼72
5 25	木			枥木 第2地区 風月
5 26	金			群馬地区 サンコー
5 30	火			静岡地区 朝霧ジャンボリー

昭和63年10月1日現在

1989年度 月例競技日程表

月	開催日	申込締切	開催コース
1	1月24日(火)	1月10日(火)	程ヶ谷
2	2月20日(月)	2月6日(月)	純武・印旛
3	3月24日(金)	3月10日(金)	高坂
4	4月14日(火)	3月31日(火)	江戸崎
6	6月23日(金)	6月9日(金)	筑波
7	7月17日(月)	7月3日(月)	日高
8	8月18日(金)	8月4日(金)	我孫子
9	9月26日(火)	9月12日(火)	龍ヶ崎
10	10月20日(金)	10月6日(金)	東京
11	11月9日(木)	10月26日(木)	霞ヶ浦
12	12月1日(金)	11月17日(金)	茨城

昭和63年10月1日現在

新規加盟倶楽部紹介

グレンピークマナーゴルフクラブ



1. 倶楽部名 グレンピークマナーゴルフクラブ

住所 栃木県鹿沼市下久我1820
電話 0289-65-8211

2. 開場年月日 昭和61年10月18日

3. 理事長名 早乙女 潤 昭和13年5月14日生

俱楽部代表 早乙女 潤 八代仁夫

4. 倶楽部分科委員長名

競技委員会委員長 石原敬士

ハンディキャップ委員会委員長 河村友正

ハウス委員会委員長 柳 啓喜

コース委員会委員長 青木 淳

プロキャディー委員会委員長 藤掛 茂

5. 支配人名

専務取締役社支配人 藤掛洋介 昭和21年11月28日生
常務取締役支配人 江原利次 昭和22年7月12日生

6. 倶楽部概要

浦和ICから東北自動車道で鹿沼ICをおりて、宇都宮方面に1キロ進み左折する。貝島橋を渡り、国道293号線を右折する。200メートル先の案内板に従ってコースへ、そこにグレンピークマナーゴルフクラブがある。コースに立てば全てがわかるだろう。格調高いベンクロスペントのピックワングリーン。フラットなフェアウェイに仕掛けられた微妙なアンジュレーション、不敵に立ちはだかるウッドンバンカー、巧妙に配置され、美しい景観でプレーヤーを誘う7つの池。水面に映える樹齢100年を超える原生林の深い緑、コース全体で高低差15メートルのフラットなコースで、勝つゴルフもいい、楽しむゴルフもいい、グレンピークマナーゴルフクラブは、あらゆるゴルファーが心から楽しめるゴルフコースです。

アローエースゴルフクラブ



1. 倶楽部名 アローエースゴルフクラブ

住所 栃木県矢板市成田1625-1
電話 0287-43-3377

2. 開場年月日 昭和62年7月1日

3. 理事長名 石橋茂夫 大正12年9月17日生

俱楽部代表 石橋茂夫 岸 義勝

4. 倶楽部分科委員長名

競技委員長 加藤祥行

ハンディキャップ委員長 海藤隆一

エチケットフェローシップ委員長 木村泰二

コース委員長 黒須篤平

キャディー委員長 後藤克彦

5. 支配人名 稲口利典 昭和23年3月17日生

6. 倶楽部概要

都心から東北道矢板IC経由にて約90分と、交通至便の地にある。また日光国立公園に点在する、那須・塙原・鬼怒川・日光の景勝地並びに、名湯温泉にも至近距離にあり、家族そろってのリゾートにも最適の地である。

クラブハウスは、前面に池を配し、大自然の中の清涼なオアシスを彷彿させ、ゆとりとくつろぎを、満喫して戴けます。コースは、平均高低差わずか3.4mと丘陵地ながら大自然の地形に恵まれ、松や松を主体とした樹林を、絶妙に生かしたコースレイアウトとなっている。すべてのゴルファーに、ゴルフの楽しさを極めて戴くことを前提として、設計されており“グッドショットが必ず報われる”ようIPは、平坦になっている。いたずらに難易度を競うのではなく、技術やキャリアに応じて興味あるかも知れないコースであり、かくホールは小高い丘と林で広域にセパレートされ、グリーンからつづきのティーグランドまでの距離はごくわずかで、余分な時間と体力を浪費することなく、ゆったりとプレーに専念出来る。眺望の素晴らしさと同時に6番・8番・17番の各ホールのフェアウェイには桜の大木があり、又樹林地やセパレートの林にも桜が点在して見事な彩りを添えている。開花期をずらした数種の桜の木を、重点的に植栽(300本)数年後には桜花爛漫の一大名物コースとなる。

